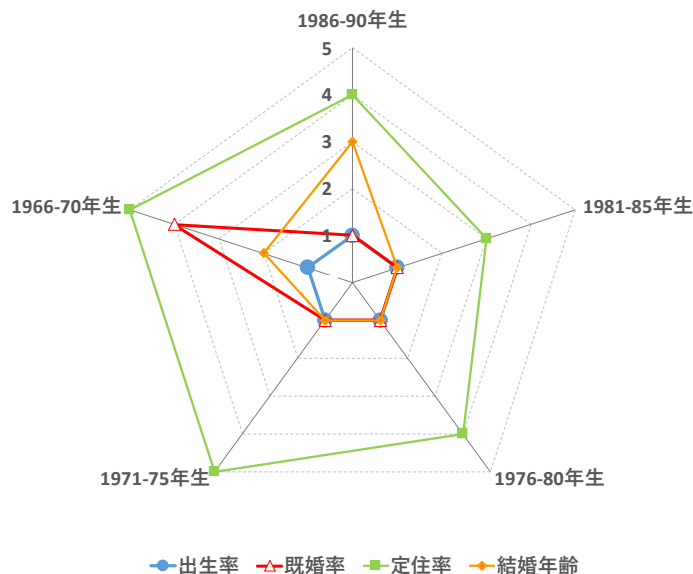


(23) 田上町

①出生に関する総合評価

図23-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

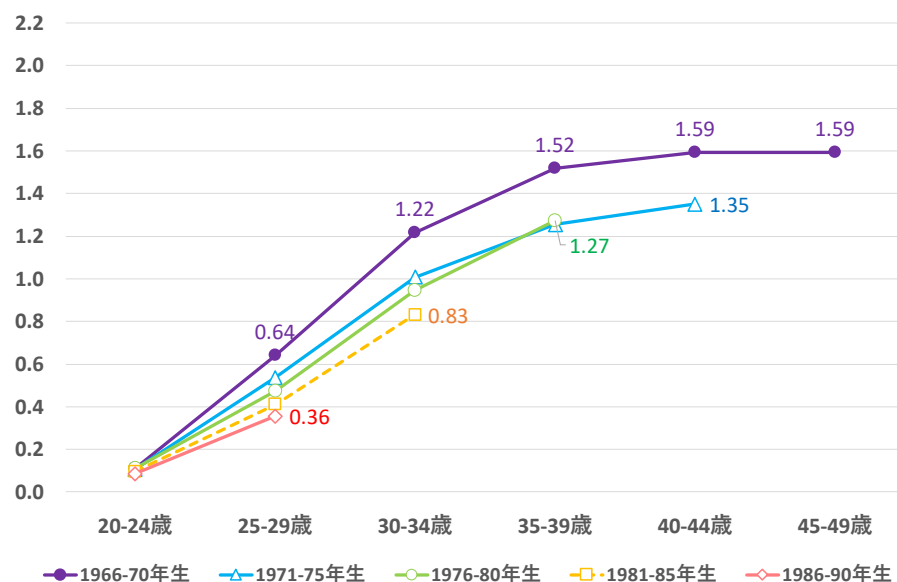
1. 合計出生率は、すべてのコホートで最下位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれは上位であるが、1971-75年生まれから1986-90年生まれまでは最下位である。
3. 女性定住率は、1981-85年生まれは中位、1976-80年生まれと1986-90年生まれは上位、1966-70年生まれと1971-75年生まれは最上位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれは下位、1971-75年生まれから1981-85年生まれまでは最下位であるが、1986-90年生まれは中位である。

【総合評価】

1. 田上町では、女性定住率が全コホートで中位以上であり、特に1970年代前半までは最上位である。他方、既婚率は上位から最下位であり、結婚年齢は中位から最下位までコホート間で大きくばらついており、1970年代前半から80年代前半生まれまでは共に最下位である。合計出生率は特に低水準で、全コホートで最下位に属している。
2. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代後半生まれから0.9人を下回っており、1980年代前半生まれでは0.7人強である。1980年代生まれでは、25-29歳時点の既婚率が1970年代生まれよりも大きく低下していることから、20歳代後半の出生率が低下している。今後、25-34歳の出生率を回復できるかは、30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。
3. 併せて、1980年代後半生まれの25-29歳時点の女性既婚率が30%を割り込んで著しく低下した要因の解明も必要である。

②コホート合計出生率

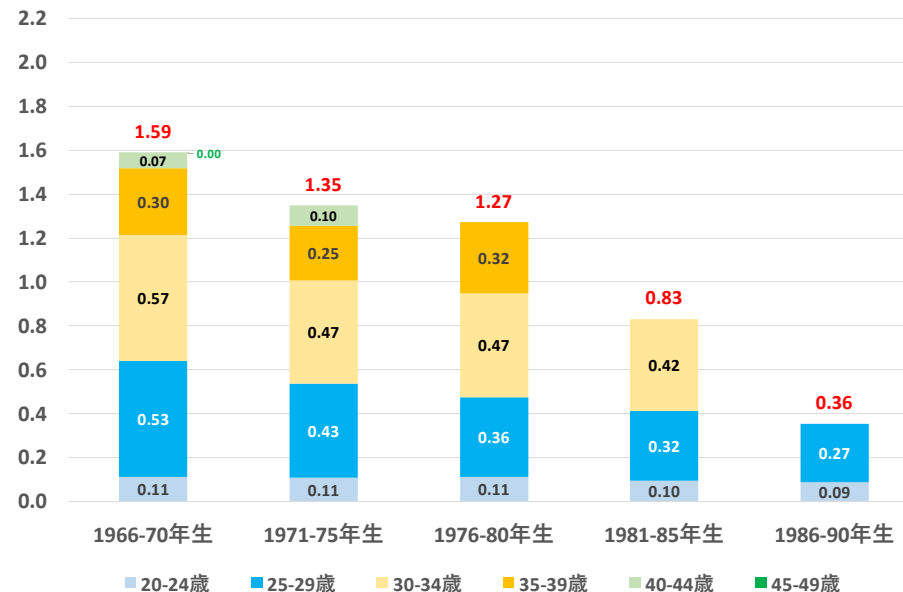
図 23-2 コホート合計出生率の推移



注：. 新潟県「福祉保健年報」より作成.

- ・ 図 23-2 は、田上町のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1971-70 年生まれと 1976-80 年生まれの間にはわずかな差しかみられないが、1981-85 年生まれ以降のコホートでは 25-29 歳の合計出生率がさらに大きく低下している。

図 23-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

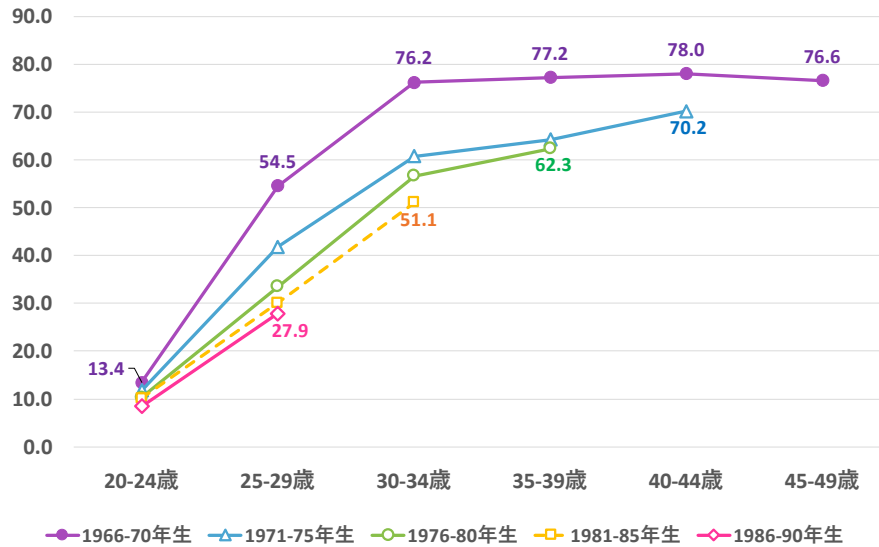


注：新潟県「福祉保健年報」より作成. 四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある.

- ・ 図 23-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.64 人に対して、1986-90 年生まれは 0.36 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.87 人に対して、1976-80 年生まれは 0.79 人に低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.74 人に大きく減少した。

③コホート別既婚率

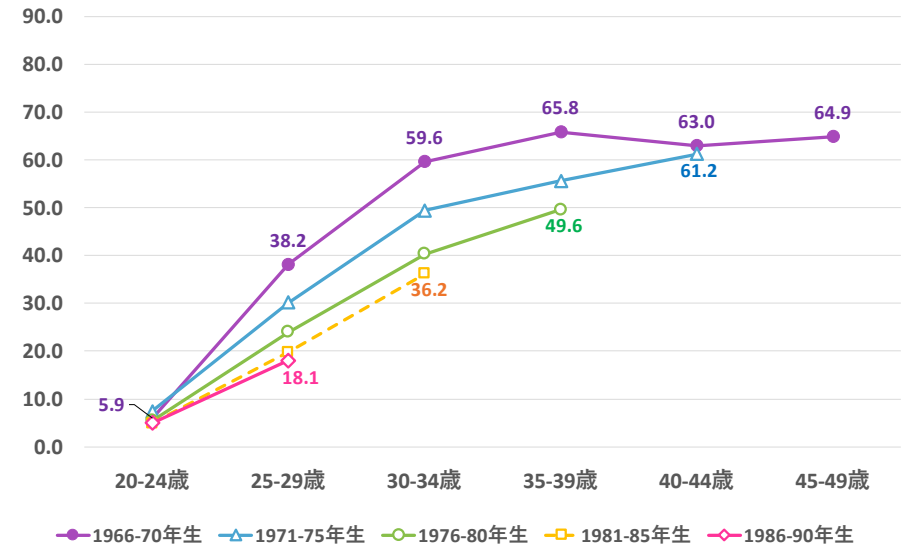
図 23-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 23-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の大きな低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 54.5%から 1986-90 年生まれの 27.9%へと 26.6 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 77.2%から 1976-80 年生まれの 62.3%へ 14.9 ポイント低下している。

図 23-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

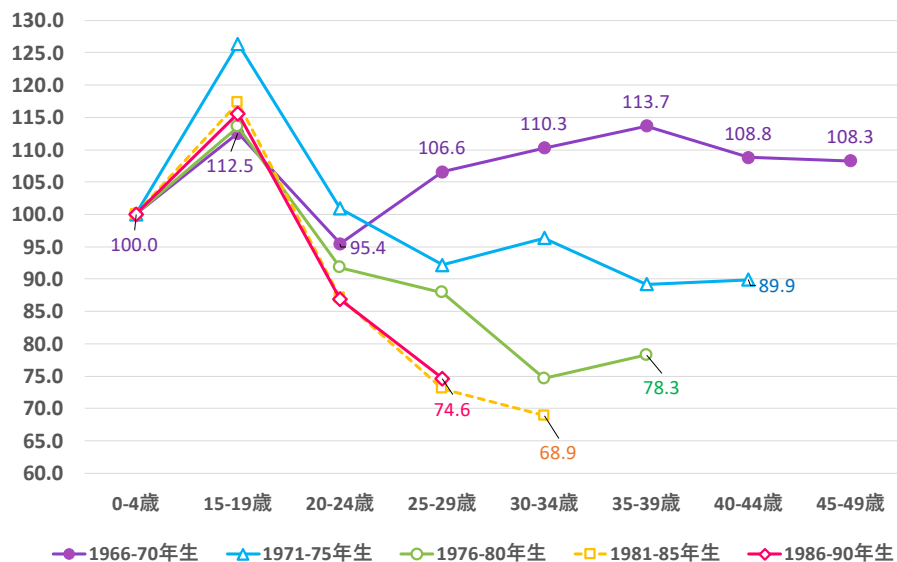


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 23-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど大きく低下する傾向が確認できる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 38.2%から 1986-90 年生まれは 18.1%へと 20.1 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 65.8%から 1976-80 年生まれは 49.6%に 16.2 ポイント低下している。25-29 歳における 1986-90 年生まれの既婚率が 18.1%と特に低い。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台前半から半ばに達するが、男性は 60%台前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 23-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

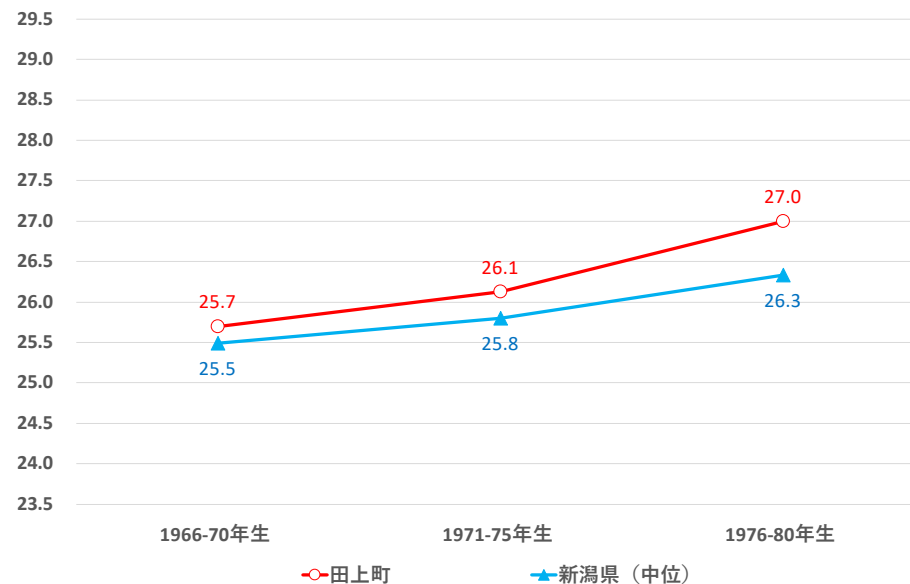


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 23-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの106.6から1986-90年生まれは74.6に32.0ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの113.7から1976-80年生まれは78.3に35.4ポイント減少している。
- ・ 田上町では、25-39歳時でみると、1966-70年生まれは定住率が0-4歳時点の100%を上回っていたが、1971-75年生まれから低下し、1980年代では60%台後半から70%台半ばの水準まで低下している。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 23-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

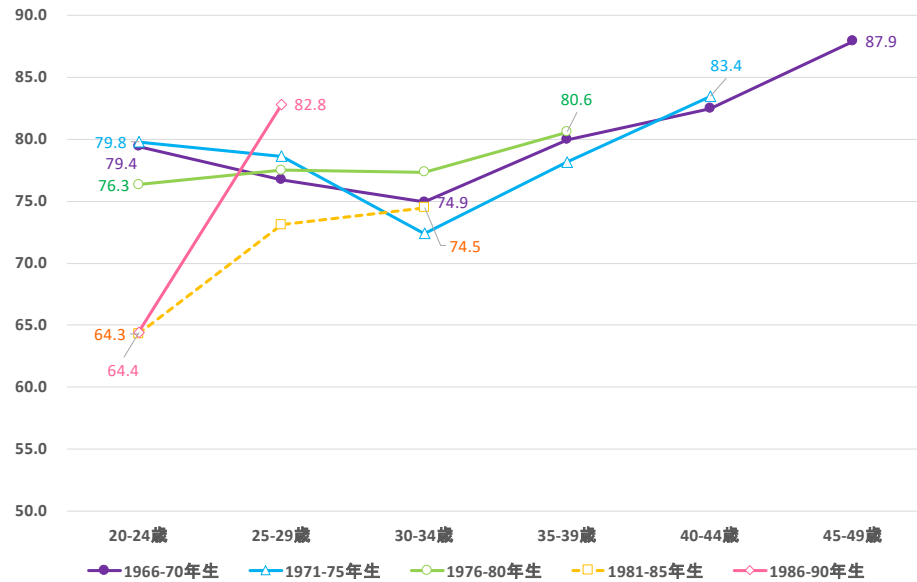


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 23-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.7歳、26.1歳、27.0歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは1.3歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は20位、1971-75年生の県内順位は24位、1976-80年生は26位と平均結婚年齢が県内で最も遅い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 23-8 コホート別女性就業率 単位：％

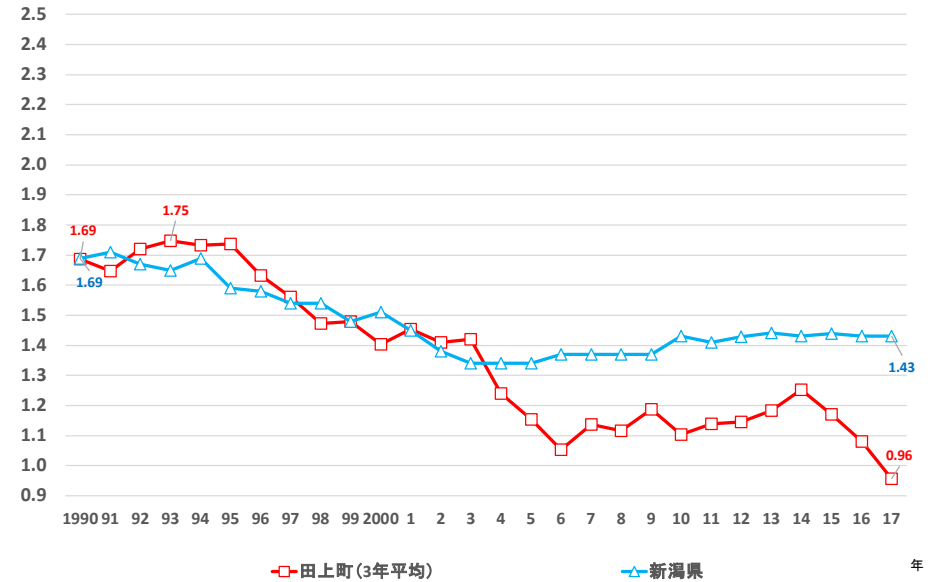


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 23-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると、1970 年代前半生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1970 年代後半生まれ以降では 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 23-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 23-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と田上町（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990-2003 年までの田上町の期間合計特殊出生率は新潟県平均とほぼ同じ推移をしているが、2004 年以降は急激に低下し、近年では県平均との差が拡大している。期間平均では 0.12 ポイント低い。
- ・ 田上町の期間合計特殊出生率は、1993 年の 1.75 から低下し、2006 年の 1.05 まで大きく低下した。その後 2014 年には 1.25 に上昇するが 2017 年には 0.96 まで再び大きく下がっている。